

## 【前世の恨み】

- 5 恨まれるからには原因が有り、前世のカルマや、先祖が犯した罪によるものがあります。しかし、人間には前世の記憶がある方は殆どいないので、現在の自分には身に憶えの無い罪だから、己のカルマという認識と相手に対する謝罪の意思も無いので、恨んで障っている方に対して、適切なお詫びができないから、いつまで経っても不運・不幸から抜け出せないでいるのです。
- 10 人間が肉体を失う時には、死ぬ直前の想念を持ち続けるので、前世で酷い事をして相手に強い悔しい思いをさせると、その時から何百年でも相手に恨まれる事になります。
- 15 正々堂々と戦って負けた相手というのは、潔く逝くので根に持たない方が多いのですが、背後から卑怯な手段で殺されたり、瀕死の状態で止めを刺されたりした場合は、強い恨みを持ちます。
- 20 乳癌になる女性は、殆どの方が前世は男性で、主に戦に勝利した占領下の女性を犯し、殺したのちに乳房を切り取り喰ったカルマを持っている場合が多いです。

## 【クリーニング現象とは】《罪穢消しの教え・仏教の経文より》

罪を積んできた魂を汚れた衣類に例えて、下記のように解説なされています。

- 25 お釈迦様の弟子の迦葉さんが、ある質問をしました。  
“お師匠様、私は運勢が悪くて困っていましたが、ある人にお釈迦様の所に行って学べば運勢が良くなると言われて、弟子にならせて頂いて、一所懸命に励んでいます。最近以前よりも、もっと悪い事が続くのですが、これは何故でしょうか？”  
その質問に対して、お釈迦様は、“迦葉よ、お前は確かに良くやっているな。それは大仏がお前を大きくお使いになろうという事でなさっているんだよ。垢や脂で汚れた衣を、最初から清水で洗う者は居ない。その汚れを落とすには、灰汁に漬けて、釜で焚き、石に叩き付けて、棒で叩き、擦りつけて、汚れを落としてから清水で濯ぐのと同じなのだよ！”  
それを聞いて迦葉さんはとても喜んで更に精進して、立派な菩薩になりました。

### ★『神』が選んだ者には、綺麗に(カルマを清算)してから大きく使うことの例えです。

ある教団で熱心に活動している方の事例で、全身に膿の出る吹き出ものができて、痒くて困っている女性がいました。

- 40 教団の方から“神が汚れた体を綺麗にして下さっているのだから、感謝してご奉仕をすれば良い”と指導されて、更に熱心に活動を始めたら、吹き出ものは益々広範囲に広がり、とても酷くなってしまい、指導された通りに行っているのに何故だろうと思ひ悩んでいました。  
ある時に、このお経の話を聞いて納得して、改めて感謝したら、直後に全身の吹き出ものから膿が吹き出して、痒みが無くなりました。
- 45 そして、その後は、肌が綺麗になり、前にも増して御奉仕に励んでおられます。